

平成27年5月 東京地区百貨店売上高概況

平成27年6月19日

I. 概況

1. 売上高総額	1,303億円余
2. 前年同月比	11.6% (2か月連続プラス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭11.9%(90.4%) : 非店頭9.2%(9.6%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 25店 (平成27年4月対比±0店)
5. 総店舗面積	856,715㎡ (前年同月比:0.0%)
6. 総従業員数	19,330人 (前年同月比:0.4%)
7. 3か月移動平均値 (店舗数調整後)	10-12月 0.2%、11-1月 0.4%、12-2月 1.7%、 1-3月 -5.1%、2-4月 -0.8%、3-5月 1.1%

【参考】平成26年5月の売上高増減率は-4.3% (店舗数調整後)

【5月売上の特徴】

- (1) 5月の入店客数は、月を通して好天に恵まれたこと、休日が2日増だったことなどを背景に2%強のプラスとなった。
- (2) 商品別では、主要5品目(衣料品、身のまわり品、雑貨、家庭用品、食料品)がすべてプラス。主力の衣料品(+6.7%)をはじめ、身のまわり品(+19.3%)、雑貨(+31.2%)、家庭用品(+11.8%)も総じて好調に推移。総額では11.6%増となり2か月連続で2桁増を記録した。
- (3) 細分類では、株価安定や景気回復感による国内需要の高まりを受け、化粧品(+40.9%)や高級時計を中心とする美術・宝飾・貴金属(+39.9%)が好調を持続。外国人観光客については引き続き旺盛な消費意欲を見せている。なお、一部店舗からは日本の文化や技術力を感じさせる浴衣や包丁などに人気が集まっているとの報告も受けている。
- (4) 個別アイテムでは、紳士服はパターンオーダーや高価格帯スーツ、婦人服は今夏トレンドのワイドパンツやガウチョパンツなどに動きが見られた。また、平均気温が高めに推移したことでサンダル、パラソル、UV化粧品、フレグランスなど盛夏物が好調。半面、好天やそれに伴う気温上昇の影響によりレイングッズや洋菓子などが不調に終わった。
- (5) 6月の商況は、16日段階で6%強のプラスで推移している。中元ギフトについては全体的に堅調で、特にインターネット受注の伸びが顕著となっている。

【要因】

- (1) 営業日数増減 31.0日 (前年同月比±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数18店舗)
①増加した:8店、②変化なし:5店、③減少した:5店
- (3) 5月歳時記(GW、こどもの日、母の日)の売上 (同上/有効回答数14店舗)
①増加した:8店、②変化なし:6店、③減少した:0店

東京地区百貨店 売上高速報 2015年05月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%)
総 額	130,350,387	100.0	11.6
紳士服・洋品	12,585,117	9.7	7.5
婦人服・洋品	25,187,325	19.3	4.7
子供服・洋品	2,688,124	2.1	10.5
その他衣料品	2,528,866	1.9	20.5
衣 料 品	42,989,432	33.0	6.7
身のまわり品	20,053,381	15.4	19.3
化粧品	9,515,763	7.3	40.9
美術・宝飾・貴金属	8,830,160	6.8	39.9
その他雑貨	5,835,813	4.5	8.8
雑 貨	24,181,736	18.6	31.2
家 具	1,564,815	1.2	1.8
家 電	841,317	0.6	8.2
その他家庭用品	4,825,581	3.7	16.2
家 庭 用 品	7,231,713	5.5	11.8
生 鮮 食 品	4,604,804	3.5	1.4
菓 子	7,177,358	5.5	-1.0
惣 菜	6,424,976	4.9	3.8
その他食料品	8,573,876	6.6	8.8
食 料 品	26,781,014	20.5	3.5
食 堂 喫 茶	3,315,177	2.5	5.2
サ ー ビ ス	2,615,209	2.0	6.8
そ の 他	3,182,725	2.4	-4.2

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。
本統計には消費税は含まれておりません。

		対前年増減(-)率 (%)
商 品 券	2,392,602 千円	-7.2
従 業 員 数	19,330 人	0.4
店 舗 面 積	856,715 m ²	0.0
営 業 日 数	31.0 日	前年 31.0 日

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、全国同様全品目が2か月連続でプラスとなった。中でも身のまわり品、雑貨、家庭用品は先月に続き二桁のプラスとなった。また、その他の品目も菓子を除く全品目がプラスとなった。家具が14か月ぶり、その他が2か月連続のプラスとなり、子供服・洋品、その他衣料品、化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他家庭用品は二桁プラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	11.6	—	2か月連続プラス
紳士服・洋品	7.5	0.8	2か月連続プラス
婦人服・洋品	4.7	1.0	2か月連続プラス
子供服・洋品	10.5	0.2	2か月連続プラス
その他衣料品	20.5	0.4	2か月連続プラス
衣料品	6.7	2.3	2か月連続プラス
身のまわり品	19.3	2.8	2か月連続プラス
化粧品	40.9	2.4	2か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	39.9	2.2	2か月連続プラス*
その他雑貨	8.8	0.4	2か月連続プラス*
雑貨	31.2	4.9	2か月連続プラス
家具	1.8	0.0	14か月ぶりプラス
家電	8.2	0.1	2か月連続プラス
その他家庭用品	16.2	0.6	2か月連続プラス
家庭用品	11.8	0.7	2か月連続プラス
生鮮食品	1.4	0.1	2か月連続プラス*
菓子	-1.0	-0.1	2か月ぶりマイナス*
惣菜	3.8	0.2	2か月連続プラス*
その他食料品	8.8	0.6	2か月連続プラス*
食料品	3.5	0.8	2か月連続プラス
食堂喫茶	5.2	0.1	2か月連続プラス
サービス	6.8	0.1	2か月連続プラス
その他	-4.2	-0.1	2か月ぶりマイナス
商品券	-7.2	-0.2	3か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・関まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>